

SONY 3-867-924-**02**(1)

PLL シンセサイザー FMステレオ ヘッドホンラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SHR-M1

Sony Corporation © 1999 Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。

主な特長

- FMステレオが手軽に楽しめるストリートヘッドホン型ラジオです。
- MDウォークマン*やCDウォークマンなどのリモコンに接続すれば、ヘッドホンとしても楽しめます。
- お好きな放送局を7つまでプリセットできます。
- 操作の時だけ点灯して周波数を表示します。

* MDウォークマンはソニー（株）の商標です。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
 - －温度が非常に高いところ（40℃以上）
 - －直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - －風呂場など湿気の多いところ。
 - －窓を閉めきった自動車内（特に夏季）
 - －ほこりの多いところ。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。その際、本機に息を吹きかけることはしないでください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。

- ヘッドホンラジオをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- イヤークリップは長期の使用、保存により劣化する恐れがあります。
- 本機はていねいに扱ってください。
- このヘッドホンラジオは、力を加えたり重さを加えたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは変形しないようにしてください。
- ヘッドホンラジオを使用中、雷が鳴り出したら、すぐに頭からはずしてください。
- 防滴機構になっていませんので雨や雪、水しぶきのかかるところでは充分にご注意ください。

聞くときのご注意

- ヘッドホンラジオは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤークリップを交換する場合、万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
--

主な仕様

ラジオ部	
周波数範囲	76 - 108MHz
周波数(間隔)ステップ	0.1MHz
実用最大出力	3.5mW + 3.5mW (EIAJ*)
ヘッドホン部	
形式	オープンエア ダイナミック型
ドライバーユニット	直径 30mm ドーム型
入力端子	3.5mm ステレオミニジャック 1個
最大入力	100mW
インピーダンス	24 Ω (1kHzにて)
再生周波数特性	14 ~ 24,000Hz

共通部	
電源	DC 1.5V、単4形乾電池 1個
質量	約99.5g(乾電池含む、コード含まず)
* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。	

付属品

ソニー単4形(R03)乾電池 (1)
接続コード (1)
取扱説明書 (1)
保証書 (1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

ラジオの音がまったく聞こえない

- 乾電池の⊕⊖が逆になっている。
- 乾電池の⊕と⊖を正しく入れなおす。
- 乾電池が消耗している。
- 乾電池を新しいものと交換する。
- 音量が最小になっている。
- VOLつまみで音量を調節する。

雑音が多く、音が悪い

- 乾電池が消耗している。
- 乾電池を新しいものと交換する。
- 電波が弱い。
- 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。

表示窓の文字や記号が見づらい

- 極端に暑い場所や寒い場所で使っている。
- 温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では表示が見にくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

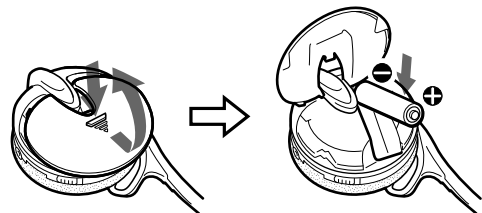
Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはおお客様ご相談センターへ <p>●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111</p>

乾電池を入れる

①側の電池ふたを開け、単4形乾電池を1本入れる。電池入れ内の表示に合わせ、必ず②側から入れてください。



乾電池の持続時間 (EIAJ*)

ソニー単4形 LR03)アルカリ乾電池使用時：約27時間

ソニー単4形 R03)マンガン乾電池使用時：約11時間

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

乾電池の交換時期

ラジオの音が小さくなったり、ひずんだりしたときに新しい乾電池と交換してください。

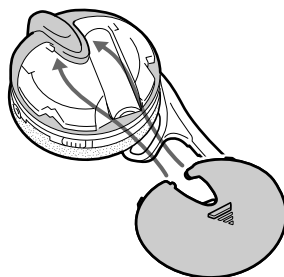
乾電池消耗お知らせアラーム音

乾電池の残量がなくなると「ピーピー」とアラームが鳴り、表示部に「batt」が点滅し電源が切れます。

再び電源を入れると、しばらくの間はラジオを聞ける場合がありますが、すぐにアラームが鳴りますので必ず新しい乾電池と交換してください。

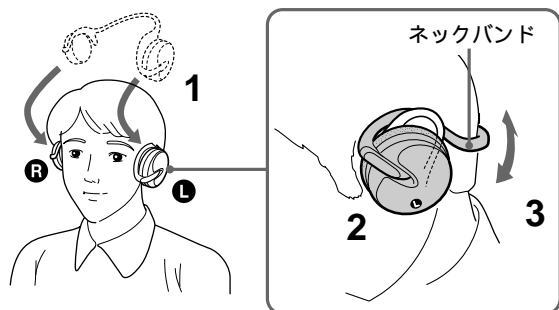
電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。

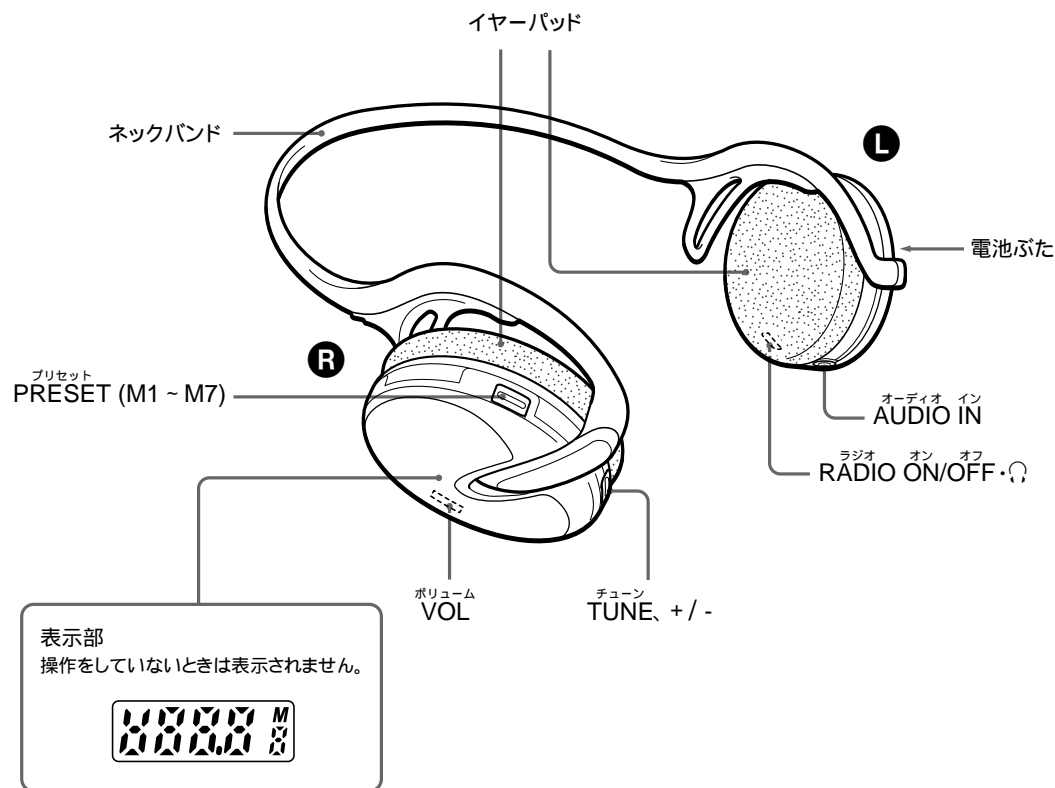


耳にかける

- ①(左)と②(右)を確認にして、ネックバンドを頭の後部にかけます。
- 左耳を③印のついた側のイヤークリップとネックバンドの間にはさみ、右耳は④印のイヤークリップとネックバンドの間にはさみます。
- 耳に合うように、ネックバンドの角度を調節します。



各部のなまえ



ラジオを聞く

—マニュアル選局

表示窓は操作中のみ点灯するので見ながら放送局を合わせてください。

- RADIO ON/OFF・ \odot スイッチをONにして電源を入れる。
- TUNE(選局)+/- ボタンを押して、放送局を選ぶ。
+を押すと数字が進み、-を押すと戻ります。
押すたびに0.1MHzずつ周波数が変わります。
押したままにすると、周波数が速く変わります。
- VOL(音量)つまみで音量を調節する。

ネックバンド内にアンテナが内蔵されていますが、接続コードをつなぐとさらに受信状態がよくなります。

ラジオの電源を切るには

RADIO ON/OFF・ \odot スイッチをOFF・ \odot にします。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

—プリセット選局

いつも聞く放送局を7局まで記憶させることができます。聞くとときは、PRESET(M1~M7)の番号を選ぶだけで受信できます。

放送局を記憶させる

- マニュアル選局で希望の放送局を受信する。
- PRESET(M1~M7)ボタンを「M2」の表示が点滅して「ピピピッ」と音がするまで押したままにする。
例「M2」に82.5MHzを記憶させたときの表示



- TUNE, +/- ボタンを押して、記憶させたいPRESET(M1~M7)の番号を選ぶ。
- PRESET(M1~M7)ボタンを押す。
「ピピピッ」と音がして、設定が完了します。

記憶させた放送局を変更するには

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消えます。

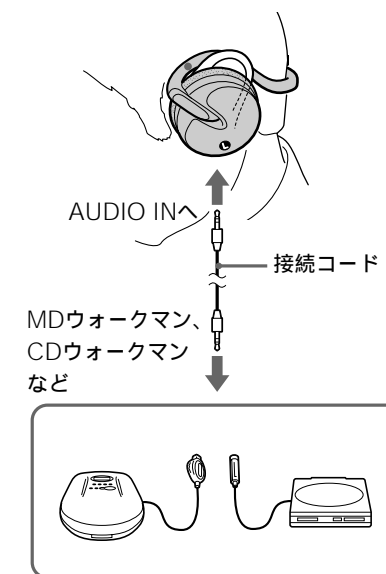
記憶させた放送局を聞くには

- RADIO ON/OFF・ \odot スイッチをONにする。
- PRESET(M1~M7)ボタンをくり返し押し、聞きたい放送局を記憶させた番号を選ぶ。
- VOLつまみで音量を調節する。

MDウォークマンやCDウォークマンなどの音を聞く

電源を切って、接続コードをつなぐと、ヘッドホンとして使うことができます。
お手持ちのMDウォークマンやCDウォークマンなどのポータブルオーディオ機器をつないで、音楽などを楽しむことができます。

- RADIO ON/OFF・ \odot スイッチをOFF・ \odot にする。
- 付属の接続コードを本機のAUDIO IN端子に接続し、反対側をMDウォークマンなどのリモコン端子につなぐ。
- MDウォークマンなどを操作する。
音量調節はMDウォークマンなどつないだ機器で行ってください。



ご注意

- 接続中にラジオを聞くときは、オーディオ機器の電源をOFFにして本機のRADIO ON/OFF・ \odot スイッチをONにしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。